

# 免疫療法の有害事象の指標とした Anti-Integrin $\alpha v\beta 6$ 自己

## 抗体検出に関わるライセンス契約締結のお知らせ

2024年5月13日

JSR 株式会社のライフサイエンス事業のグループ企業である株式会社医学生物学研究所（取締役社長 伊藤 浩毅）は、京都大学ならびに近畿大学と、免疫関連有害事象（以下、irAE）腸炎の指標とした Anti-Integrin  $\alpha v\beta 6$  自己抗体の検出に関する特許ライセンス契約（独占型）を締結したことをお知らせいたします。

これまでに当社は、京都大学と、潰瘍性大腸炎および原発性硬化性胆管炎の指標とした Anti-Integrin  $\alpha v\beta 6$  自己抗体の検出に関わる特許ライセンス契約（独占型）を、2022年4月に締結していますが、この度、オンコロジー領域における免疫療法の臨床普及等を鑑み、irAE 腸炎の指標とした Anti-Integrin  $\alpha v\beta 6$  自己抗体の検出に関しても、独占的特許ライセンス契約を締結することになりました。

この契約に基づき今回当社が受ける権利は、京都大学と近畿大学が現在出願中の、以下の対象出願に関するものになります。

### 【対象の特許出願】

国際出願番号：PCT/JP2023/037734

発明の名称：免疫関連有害事象腸炎の検査方法

出願人：国立大学法人京都大学、学校法人近畿大学

当社は、この特許（現在出願中）の実施許諾を受けて、製品の製造・販売を、単独または再実施の許諾により行います。

なお、Anti-Integrin  $\alpha v\beta 6$  自己抗体を測定する研究用試薬を 2022 年 4 月に販売開始しております。詳しくは下記 URL をご参照ください。

製品詳細情報：<https://ivd.mbl.co.jp/diagnostics/search/detail/?cd=5288>

ご注文・お問い合わせ：<https://ivd.mbl.co.jp/diagnostics/inq/>

### Anti-Integrin $\alpha v\beta 6$ 自己抗体について：

Anti-Integrin  $\alpha v\beta 6$  自己抗体は Integrin  $\alpha v\beta 6$  に対する自己抗体です。Integrin は細胞外マトリックスへ結合することで細胞接着を担う細胞表面受容体であり、このうち腸管上皮に発現する Integrin  $\alpha v\beta 6$  は炎症抑制および病原体と寄生虫の感染予防に関わっています。

## **irAE 腸炎について：**

irAE 腸炎とは免疫チェックポイント阻害剤の投与に関連して引き起こされる一般的な有害事象であり、炎症性腸疾患との類似が指摘されています。

免疫チェックポイント阻害剤は免疫ががん細胞を攻撃する力を保つ薬です。しかし、がんに対する免疫だけでなく免疫全般を過剰に活性化するため、自分自身を攻撃してしまう自己免疫疾患を引き起こす可能性があります。

## **<製品情報>**

### **【研究用試薬】**

製品名：Anti-Integrin  $\alpha\beta6$  ELISA Kit

Code No.：5288

希望納入価格（税別）：90,000 円

包装単位：96 ウェル

貯蔵方法：2～8℃

有効期間：24 カ月

※本品は研究用試薬です。診断その他の医療上の目的で使用しないでください。

## **本リリースに関するお問い合わせ：**

株式会社医学生物学研究所

本社所在地 〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目11番8号 住友不動産芝大門二丁目ビル

電話 03-6684-6860（代表）

お問い合わせフォーム：<https://ivd.mbl.co.jp/diagnostics/inq/>

## **【株式会社医学生物学研究所について】**

1969年に日本で最初の抗体メーカーとして設立され、現在では、免疫学的領域のみならず、遺伝子診断の領域にも事業を拡大して、臨床検査薬及び基礎研究用試薬の研究・開発・製造・販売を行っています。

臨床検査薬事業では、自己免疫疾患、がん、感染症等の検査薬の開発・販売を行っています。自己抗体診断分野では日本国内トップメーカーとして製品ラインナップの充実を図り、難治性疾患の多い当該分野の医療に貢献しています。がん診断分野では医薬品の効果を予測するコンパニオン診断薬を開発し、個別化医療に貢献しています。

以上